

(別紙4(2))

事業所名 サポートハウス藤ヶ丘

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 2月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	これまで利用者自身で避難できていたものが、移転により、職員、利用者とも避難経路方法を一から理解し把握する必要がある。	職員が避難方法を把握し、誘導できる。 利用者が誘導に従いスムーズに行動できる。	移転後、早い時期に避難訓練を行い、避難方法を把握し実践できるようにする。	3 ヶ月
2	52 (19)	移転後のリビングは居室に囲まれている為、動線を考えた家具配置が必要である。	現在のように皆で集まり、楽しくすごせる空間を作る。	落ち着いてすごせるよう家具の配置を工夫する。 壁面飾りなどであたたかい雰囲気作りをする。	3 ヶ月
3	2 (2)	ホームの移転があるため、地域との付き合いも一からとなる。	なるべく早く地域に認知され、交流をもてるようにする。	散歩や買物を日課とし、積極的に地域にでていく。	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

